TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られたⅡ　何の役にも立たないクリスチャン

マタイの福音書 25 章 14 節ー30 節

2023 年 6 月 10 日&11 日
余沢 武　牧師

I.　はじめに

こんにちは。来週このシリーズは終わりになります。イエスが十字架にかかる前のイエスからの最後の指示を私達は学んでいます。イエスは弟子たちにこう言いました。

1. 最後の審判のためにイエスが返ってくるのは予想もしない時であること。私たちは「主人を待つ忠実で賢い僕」や「花婿を待つ賢いおとめ」として準備しているべきであること。
2. 今日は私たちが準備が出来ているかどうかをみるもう一つの箇所をみます。その前にまずお祈りしましょう。

II.　役に立たないクリスチャン

(1)　旅の前に

マタイによる福音書 25:14-15a をみましょう。「天の国は、ある人が旅に出るとき、僕たちを呼んで、自分の財産を預けるようなものである。それぞれの力に応じて、一人には五タラントン、一人には二タラントン、もう一人には一タラントンを預けて、旅に出た。」

- 「ある人」というのはイエスです。「僕たち」というのは私たち、自分が「クリスチャン」であると言う人達です。
- 「自分の財産」というのはイエスが神の御国のために使うよう委ねてくださっているものです。

この個所ではイエスは 5 タラントンを 1 人に、2 タラントンを他の 1 人に、1 タラントンを 3 人目の人に預けました。つまりそれはそれぞれクリスチャンによって神の御国のために与えられる量が違うことを表しています。
「タラントン」というのはおそらく「銀の硬貨」の重さを表しています。ここでは「お金」だけではなく、これは家、職場、学校、教会、またはどこででも私たちが神の栄光を表すために使うよう与えられている全てで、私達に任されている資産、知識、霊的な賜物、能力、時間かもしれません。
しかしここでこの「全てのタラントン」が「神の財産」であることに注目してください。これらは神の物なのです。ですから他の人が持っているものと自分が持っているものを私たちが比べることがどれだけばかばかしいかということがわかります。それらは全て神のものです。私たちの物ではありません。
動物園である人が仕事を始めたとします。その人がウサギより大きいライオンの世話をするようにいわれたからといってウサギの世話をする人よりも立派な働き人ということにはなりません。それはただの仕事の割り当てにすぎず、それぞれの仕事を成し遂げれば十分なのです。
同じように牧師である事が教会の案内係よりも良い僕とはなりません。そして案内係であることが牧師よりも良い僕ということにもなりません。例えばさらにスキルが求められる教師、音楽家であるということが、他のそういった技術を持っていない人よりも優れた僕とはなりません。それはイエスが「それぞれの力に応じて」決めることだからです。
だからその人がどのように奉仕しているかでその人を判断することは、それはある意味、いくつか私たちがイエスを批判していることになります。なぜなら彼らはイエスの僕でイエスが彼らに任せられたものをもって仕えているからです。

(2)　旅に出ている時

15b 節-18 節「早速、五タラントン受け取った者は出て行き、それで商売をして、ほかに五タラントンもうけた。同じように、二タラントン受け取った者も、ほかに二タラントンもうけた。しかし、一タラントン受け取った者は、出て行って穴を掘り、主人の金を隠した。」

「5 タラントン」受け取った僕は出て行き、それで商売をしてほかに 5 タラントンをもうけました。「2 タラントン」を受け取った僕はもう 2 タラントをもうけまし

た。しかし「1 タラントン」を受け取った僕はそれで商売をするかわりに、穴を掘って、隠しました。

（3） 旅から帰って来た時

19 節−23 節「さて、かなり日がたってから、僕たちの主人が帰って来て、彼らと清算を始めた。まず、五タラントン受け取った者が進み出て、ほかの五タラントンを差し出して言った。『ご主人様、五タラントンをお預けになりましたが、御覧ください。ほかに五タラントンもうけました。』主人は言った。『よくやった。良い忠実な僕だ。お前は僅かなものに忠実だったから、多くのものを任せよう。主人の祝宴に入りなさい。』次に、二タラントン受け取った者も進み出て言った。『ご主人様、二タラントンをお預けになりましたが、御覧ください。ほかに二タラントンもうけました。』主人は言った。『よくやった。良い忠実な僕だ。お前は僅かなものに忠実だったから、多くのものを任せよう。主人の祝宴に入りなさい。』」

これがイエスが僕たちを評価し褒美をあたえる方法です。

1. 5 タラントン受け取って 5 タラントンもうけた者は、イエスから「良い忠実な僕」だと言われました。イエスはその人に「多くのもの」を任せてその人に褒美を与えました。
2. 2 タラントン受け取って 2 タラントンもうけた者は、イエスから「良い忠実な僕」だと言われました。イエスはその人に「多くのもの」を任せてその人に褒美を与えました。

これは「神の国」の素晴らしい特質です。この二人に違いを見出すことはなさいません。それぞれの人にどれだけの才能や能力、どれだけのものを預けているかを神は知っているからです。
預けられたものに対して 2 人は両方「良い忠実な僕」だったのです。だから 2 人共が「多くのもの」を任せられたのです。神から見ると何を成し遂げたかが問題ではないのです。忠実さが大切なのです
「近年で 1 番素晴らしいクリスチャンの働き人は誰ですか」このような質問に皆さんはどう答えますか。「ビリー・グラハム」、「ジェイ・アダムス」「ハドソン・テイラー」や素晴らしい功績を残した他の有名な方達の名前をあげるかもしれません。その方々はたくさんのものを任され、たくさんのものを得た素晴らしいクリスチャンでした。
しかし神から見たら多くのクリスチャンの働き人はそれよりも少ししか任されず、それよりも少ししか結果を得なかったかもしれませんが、そういった有名な方達と同様に忠実だとみられるのです。今あなたの隣に座っている人がそういう方かもしれません。神から見たらそういう有名な方達よりももっと忠実だとされるかもしれません。
だからその方の功績や能力で他者を批判するのは愚かなことなのです。
神から見たら、どれぐらい多く、または少なく生み出しているかは決して問題ではありません。問題は神の御国のために私たちが任されたものや能力を使っているかどうかなのです。

24 節−27 節「一タラントン受け取った者も進み出て言った。『ご主人様、あなたは蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集める厳しい方だと知っていましたので、恐ろしくなり、出て行って、あなたのタラントンを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。』主人は答えた。『悪い臆病な僕だ。私が蒔かない所から刈り取り、散らさない所からかき集めることを知っていたのか。それなら、私のお金を銀行に預けておくべきだった。そうしておけば、帰って来たとき、利息付きで返してもらえたのに。」

1 タラントン任された僕にはいくつかの問題がありました。

① まずイエスがどれだけ「慈悲深い」方かということをその人は理解していませんでした。そして 1 タラントンしか受け取らなかった自分はすごく不利であると思ったかもしれません。その人の能力で管理することができる量をイエスが知っていることをその人は知りませんでした。
その人がそれを使いさえすれば、他の人よりももうけた量が少なくても、イエスはその人を「良い忠実な僕」だと褒め、「多くのもの」を任されたでしょう。しかしそうするかわりにその人はイエスが「厳しい方」だと思い、自分が与えられたものを使って仕えることを恐れました。

② 2 番目にその人は自分が「僕」でイエスが主人だ

ということを忘れていました。そしてその人はイエスが刈り取り、かき集めるのを期待することが理にかなっていないと思ったのです。
ですからイエスに本当に仕えたいなら私たちがそうすることが出来るやり方があるのです。この僕の場合、お金を銀行に預けることも出来ました。でもそうせずに、その人はイエスのために何もしなかったのです。その人は全てを埋めておきたかったのです。

クリスチャンの皆さん。もしりんご農園の主人にリンゴの収穫に雇われ、かごを渡され、それぞれの能力に応じてでも構わないのでリンゴを取ってくださいとお願いされたとします。そのような時、私たちはその農園主を厳しいと言ってかごをどこかに隠して、彼に雇われた者としての利益だけを受け取るようなことはしません。
同じように私たちはイエスに仕える者として、そのことによる良いものを受け取るだけで、神に仕えるために私たちに預けられたお金、資産、知識、霊的な賜物、能力、時間を使わず、イエスを厳しい主人として責めることはできません。

(4) 裁き

28 節-30 節「『さあ、そのタラントンをこの男から取り上げて、十タラントン持っている者に与えよ。誰でも持っている人はさらに与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまで取り上げられる。この役に立たない僕を外の暗闇に追い出せ。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。』」

神に仕えるために与えられたものや能力を使うのを拒んだ者たちには、神に赦しと助けを求めなかった「愚かなおとめたち」と同じ裁きを神が与えたことがわかります。その人たちも「神の御国」に入れてもらえないのです。実はこの 2 つのグループは同じ人たちのことを表しているようです。
神の御国は「たぐいまれな御国」です。これは「仕える者たちの御国」です。ある人たちは「不器用」かもしれません。ある人たちは「みんなを驚かす」ようではないかもしれません。しかしイエスによると皆が「忠実」で、仕えたいと「熱心に願う」人たちの御国なのです。

私が日本の小学生だった時、1 年に 1 度「学校の大掃除の日」がありました。その日、1 年生から 6 年生までどの学年の子も全員、みんなで学校を一緒に掃除するのです。床にワックスをかける子、窓を拭く子、窓の日除部分を洗う子、トイレを洗う子とそれぞれが分担します。
子供たちが慣れない手つきで全てを行います。床を拭いていたかと思うと次の瞬間には虫やら何やらでギャーギャー騒いでいたりします。こちらの一部を拭くのを忘れてしまったり、あちらの隅が拭いていなかったりします。それは決して最も効率が良い掃除の仕方ではありませんでした。
しかし私が覚えている限り、私たちは与えられた限られた能力の中で皆「一生懸命」やっていました。今振り返ってみると、先生達は私たちがそうしていることだけが大事だと思って見ていた気がします。子供達がきちんと出来なかったとしても先生たちは私たちの努力を褒めてくれました。そして子供達も皆でがんばって掃除が出来たことを喜んでいました。

神の御国は多くの面でこのような感じです。私たちは皆不器用で、誰かを感銘させるようなことが出来ません。しかし私たちは与えられている限られたお金、資産、知識、能力、霊的な賜物、時間で一生懸命仕えようとしています。イエスは私たちがそうしているのを見たいだけなのです。イエスは私たちを「よくやった。良い忠実な僕だ。」と褒めてくれます。そしてさらに「多くのもの」を私たちに任せるのです。イエスの祝宴に招いていただきましょう。皆で喜びを分かち合っていきましょう。
自分は多くのものを与えることが出来ないと感じているかもしれません。イエスはそれを知っています。しかし大切なのは家庭で、職場で、学校、教会、またはどこにいてもその場でイエスのために、またイエスの御国のために仕えること。そのために私たちに与えられたものを使うかということが問題なのです。イエスが再び帰って来られる時に「忠実」な者として私たちを見てくださいますようにと願っています。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2423jp

★クラス101
教会員になるためには
6月24日（土）13:30～17:30
参加条件: どなたでも

★クラス 401
ミッションの発見
7月1日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101、201,301 を修了した方

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org